LPガスをご家庭でお使いになるお客様へ

あんしん回覧板

一般消費者用 周知文書

ご家族の皆様で
お読みください

クリーン
エネルギー

LPガス
人と地球にスマイルを

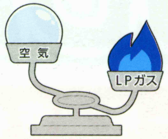
このパンフレットは、液化石油ガス法に
基づきお届けするものです。

知って安心！快適な生活を支えるLPガス

ガスの性質を知っておきましょう

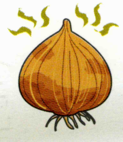
❶ 空気より重い

LPガスは空気の約1.5倍と重く、漏れると低いところや物かげにたまる性質があります。もしガスが漏れたら、特に下の方の風通しを良くしてガスを屋外に出しましょう。



❷ ニオイをつけてある

LPガスそのものは無色無臭ですが、漏れたときに分かるようにタマネギのようなニオイをつけてあります。



❸ 気化しやすい

LPガスは圧力をかけて液体の状態で容器（ボンベ）に入っています。容器のバルブを開くと気化し、液体の体積の約250倍に膨れ上がります。

❹ 燃焼範囲

LPガスが燃える範囲（燃焼範囲）は、空気中に2.1～9.5％LPガスが混入した場合です。他のガスより低い濃度で燃焼範囲に入るため少量の漏れにも注意する必要があります。

❺ クリーンなガス

LPガスは環境負荷が小さくクリーンなエネルギーです。
またCO（一酸化炭素）は入っていません。
※ただし、換気不足などで不完全燃焼を起こすとCOを発生します。

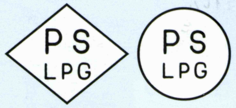
ガス器具のご使用にあたって

ガス器具は『LPガス用器具』を必ずご使用ください。

- 都市ガス用器具は使えません。
- ガス器具の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
- ガス器具の保証書は大切に保管してください。
- 新しくガス器具をご使用の際には、LPガス専用の器具であることを確認してください。

●LPガス用器具には次のような表示があります。

国の検定マーク



PSマーク

マイコンS型メーター検定マーク

燃焼器具名
LPガス用
型式
ガス消費量
製造会社名
製造年月

製造会社のプレート

こんなときは当店へご連絡ください

- LPガス配管設備の工事、ガス器具を取り付けるとき・取り外すとき。
  ※消費者自ら行なわないでください。
- 消費設備（ガス器具）を変更したとき。
  ※その内容を当店に連絡してください。
- 新築・改築・転居などで新しくLPガスを使用するとき、または止めるとき。
- ストーブなどの季節的器具で、取り付け・取り外しが困難なとき。

※ニセ点検調査員、又は、悪質な訪問販売にご注意！「へんだな」と思ったら当店にご連絡ください。

必ず点検を受けてください！（有償）

消費生活用製品安全法の改正に伴い「長期使用製品安全点検制度」がスタートしました（H21年4月1日より）。製品が古くなると部品等が劣化（経年劣化）し、火災や死亡事故を起こす恐れがあります。メーカーなどに所有者登録することで、適切な時期に点検通知が届きますので、点検を受けてください。

対象製品（特定保守製品）

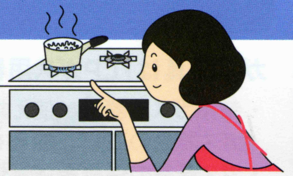
- 屋内式ガス瞬間湯沸器
- 屋内式ガス風呂がま

現在お使いの製品（H21年4月1日より前に製造・輸入された製品）も点検可能ですので、詳しくはメーカーなどにお尋ねください。

毎日使うものだから、ガスコンロの安全チェック!!

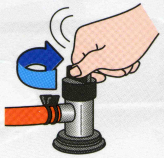
点火、消火は必ず目でチェック!

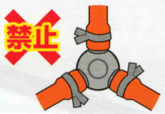
ガス機器の近くに燃えやすいものは置かないでください。ガス使用時はその場を離れないでください。



ガス栓・器具栓を閉める

・ガスをお使いになるときはガス栓を全開で、お使いにならないときは完全に閉めてください。
・就寝前、留守時には器具栓および元栓を閉めてください。
・マッチにて点火する場合には、点火後に器具栓を開けてください。

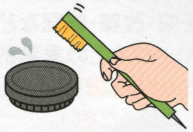




※三つ又は危険です。絶対に使わないでください。

万一のために日ごろからお手入れしましょう

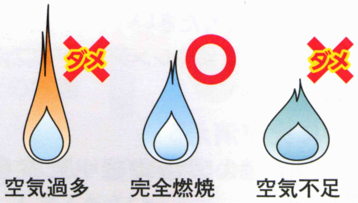
コンロの目詰まりは不完全燃焼の原因となります。専用のワイヤーブラシでこまめにお手入れください。



※お願い　ガス器具のお掃除などでネジ等を取り外す必要がある場合は、ご自身でお手入れせず、必ず当店にご連絡ください。

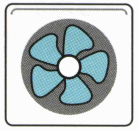
青い炎で使用しましょう

ガスの炎は、必ず"青い炎"でご使用ください。赤っぽい炎は不完全燃焼をしています。



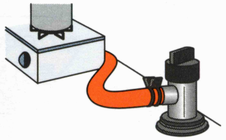
換気を忘れずに

ガスコンロを使用するときは換気扇やレンジフードを使用して必ず換気しましょう。

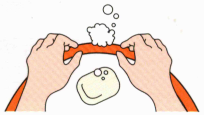


ゴム管にも細心の注意を!

・ゴム管(オレンジ色)はできるだけ深く差し込み、ホースバンドでとめてください。
・ゴム管にひび割れ等が発生していないかを時々確認して早めに取り替えましょう。



ゴム管のガス漏れ点検は、石鹸水を塗って泡が出るか調べてください。
※泡が出た場合はただちにゴム管を取り替えてください。



Si 全口センサー搭載 センサーコンロ

すべてのバーナーに安心センサーを搭載

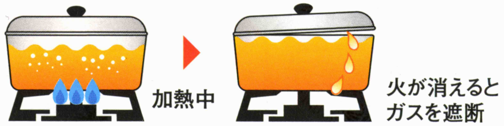
調理油過熱防止装置(天ぷら油過熱防止装置)

センサーが鍋底の温度を感知し約250℃になると自動的に消火して油の発火を防ぎます。

安心機能を充実させるため、すべてに温度センサーを搭載した「Siセンサーコンロ」がおすすめです。

立ち消え安全装置

煮こぼれや吹きこぼれ、強風などで火が消えた時、自動的にガスを止めます。



CO中毒に気を付けましょう

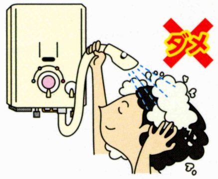
屋内設置の湯沸器、風呂がまのご使用時

●換気に注意してください
使用時は必ず換気扇やレンジフードのファンを回すか、窓を開けて十分に換気を行なってください。

●使用中に火が消える
点火中に火が消える現象が繰り返し発生する場合は、再点火せずに当店にご連絡ください。

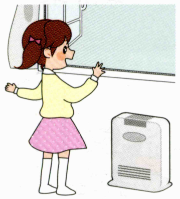
●排気フィンがほこりなどで目詰まりしていないか確認してください

●小型湯沸器でのお風呂への給湯や洗髪等での長時間使用はしないでください



●風呂がま及び大型湯沸器の設置場所には、給気口及び排気設備を設けてください

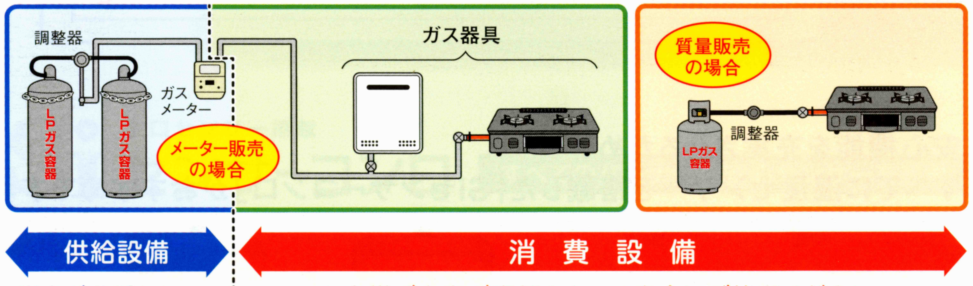
30分ごとに換気をしましょう



ガスストーブやファンヒーターをご使用のときは、必ず30分に1回程度、窓を開けて換気をしてください。

※CO中毒を防止するために不完全燃焼防止装置付き器具や屋外設置式へ取り替えてください。

ガス設備の安全管理及び点検責任について



当店が責任をもって管理します。

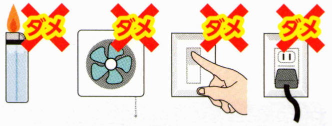
お客様ご自身が責任をもって安全にご使用ください。

＊質量販売の場合は、当店にお問い合わせください。

もしもの時には…

ガスが漏れた時は

❶ 火気は絶対使用しないでください
・タバコの火など現在使用中の火気を消火してください。
・電気のコンセントやスイッチに触れるなど、着火の原因となることは避けてください。

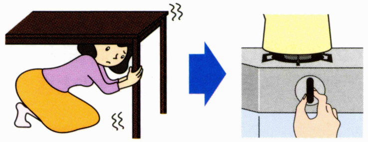


❷ ガスを外に追い出してください
・窓や戸を大きく開けてガスを追い出します。
・ガス栓、器具栓、容器バルブを閉めます。

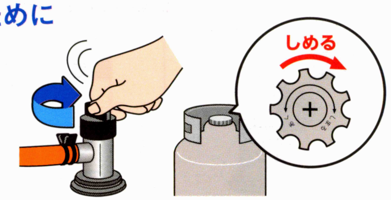
❸ 当店や当店指定の連絡先に連絡をしてください
住所・氏名・その場の状況をお知らせください。点検を受けるまでは、ガスを使用しないでください。

地震の時は

❶ 身の安全を確保してください
まずご自身の安全を確保してから火を全部消してください。



❷ 二次災害を防ぐために
揺れがおさまったら、ガス栓、器具栓を閉め、容器バルブも閉めてください。



警報器の取り付け・取り扱い

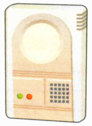
●適切な位置に設置しましょう
LPガス用の警報器は誤った位置に設置すると検知しません。

<ガス漏れ警報器>

●まわりに物を置かないようにしましょう
警報器が検知しにくくなります。

●電源プラグは常時コンセントに差し込んでおきましょう
電源プラグが抜かれていたため検知されずに事故が拡大する場合があります。

<CO警報器>

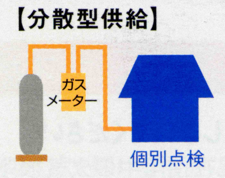


●交換期限内のものか確認しましょう
期限が過ぎると正しく検知しない場合があります。「交換期限表示ラベル」にて期限を確認し、期限が近づきましたら当店に交換を依頼してください。

災害に強いLPガス

LPガスはボンベに充填し各戸に配送を行なう「分散型」供給のため、配管など設備の点検も短時間で済み、異常があった場合も迅速に復旧させることができます。

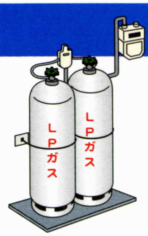
【分散型供給】



・配管が短いため、**異常があれば即修理可能**

・1戸単位で安全を確認し復帰可能なため、**復帰までの時間が短い**

転倒に注意してください



●風水害時

ガスボンベが転倒または流出しないよう容器はチェーンやロープでしっかり固定されているか確認してください。

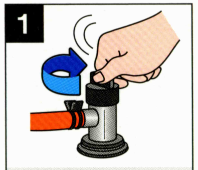
もしもの時は自動でストップ！

マイコンメーターは下記のような時にガスを遮断します。

・ガスの使用量が急激に増えた場合
・ガスの消し忘れなどで長時間ガスを使い続けたとき
・大きな地震（震度5以上）のとき

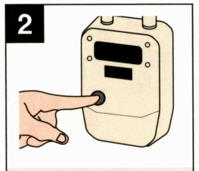
マイコンメーターの復帰操作の手順

1



ガス栓・器具栓をすべて閉める。

2



復帰ボタンを押してすぐ離す。

※復帰ボタンを押した後はガスを使用しないで1～2分お待ちください。マイコンメーターがガス漏れがないか安全を確認しています。異常がなければ元通りガスが使用できます。

※ガスが使用できない場合は、当店へご連絡ください。

LPガス 人と地球にスマイルを

26年度版 保存版

一般社団法人
千葉県LPガス協会
〒260-0024
千葉市中央区中央港1丁目13番1号
TEL 043-246-1725
URL http://www.chibalpg.or.jp/

千葉県LPガス　検索

パンフレットの内容について、不明な点は当店にご連絡ください。
緊急時も当店にご連絡ください。

店　名

住　所

電　話

※緊急時のご連絡の際は、お客様のご住所・氏名・ガス漏れなど災害が発生する恐れがある旨をお伝えください。